

内閣総理大臣杯
第 52 回日本社会人ゴルフ選手権
＜関東決勝大会＞

開催日：令和 3 年 9 月 6 日（月）
会 場：日高カントリークラブ
主 催：スポーツニッポン新聞社

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に記載されるので必ず参照すること。
ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰（2 罰打）」となる。

【ローカルルール】

1. アウトオブバウンズ（規則 18.2）

アウトオブバウンズ（OB）は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. 異常なコース状態（規則 16）

(a) 修理地

(1) 青杭または白線で囲まれた区域

プレーヤーの球が修理地内にある場合や、その区域がプレーヤーの意図するスタンス区域や意図するスイング区域の障害となる場合、そのプレーヤーは規則 16.1 に基づく救済を受けなければならない。

(2) グリーンの前後を含み、フェアウェイの芝の長さかそれ以下の区域にあるヤーデージマーキングペイント（スタンスへの障害は除く）。

(b) 動かさない障害物

(1) 排水溝

(2) 距離標示用の人工のヤーデージマーク（距離標示用の杭を除く）

(3) 地面に敷いてあるゴムマット

(4) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物の一部として扱われる。

(5) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。

3. 不可分な物

以下の者は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。

ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。

4. ドロップゾーン

13 番ホールにある金網に球が近接しているためにスタンスや意図するスイングの妨げになる場合、プレーヤーには次の選択肢がある。

- ・規則 16.1 に基づいて罰なしの救済を受ける。（処置する際、その障害物の中や下や上を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。）または、
- ・追加の選択肢として、元の球か別の球をホールに近づかない方のドロップゾーンにドロップする。このドロップゾーンは規則 14.3 に基づく救済エリアである。

5. 目的外グリーン

ラウンドをプレーするときに、自分の球が目的外グリーンの上にあったり、スタンスや意図するスイング区域の障害となり、プレーヤーが規則 13.1f に基づいて救済を受けなければならない。

このローカルルールに違反して誤所から球をプレーしたことに対する罰：規則 14.7a に基づく一般の罰。

注：予備グリーンは定義上「目的外グリーン」である（規則 13.1f）。

6. 後方線上の救済を受けて、救済エリアの外からプレーした球

後方線上の救済を受ける場合、プレーヤーが関連する規則(16.1c(2), 17.1d(2), 19.2b,19.3b)が要求する救済エリア内に球をドロップしたが、その救済エリアの外に止まった球をプレーした場合、その球をドロップしたときに最初に地面に触れた箇所から 1 クラブレンジス以内にその球が止まっているのであれば、追加の罰はない。この罰の免除は、球が基点よりホールに近い所からプレーされていたとしても、元の球の箇所や、球がペナルティーエリアの縁を最後に横切ったと推定した地点よりホールに近づいてプレーしていなければ、適用する。このローカルルールは関連する規則の後方線上の救済に関する処置を変更するものではない。つまり、基点と救済エリアはこのローカルルールによって変更されず、正しい方法で球をドロップし、その球が救済エリアの外に止まったプレーヤーは、それが起きたのが最初のドロップであっても、2 回目のドロップであっても、規則 14.3c(2)を適用することができる。

7. 壊れた、または著しく損傷したクラブの取り替え

規則 4.1b(3)は次のように修正される：

プレーヤーのクラブを乱暴に扱った以外のケースでラウンド中にそのプレーヤーやキャディーによって「壊れた、または著しく損傷した」場合、そのプレーヤーは規則 4.1b(4)に基づいてそのクラブを別のクラブに取り替えることができる。クラブを取り替える場合、そのプレーヤーは壊れた、または著しく損傷したクラブを規則 4.1c(1)の処置を使用して、すぐにプレーから除外しなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰 — 規則 4.1b 参照

8. クラブと球

(a) ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。

(b) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていない。

このローカルルールの違反に対する罰：失格

9. ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない：伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた1つあるいは複数の鋲を有するスパイク（メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない）。

このローカルルールの違反に対する罰：失格

10. プレーの中断(規則 5.7)

プレーの中断と再開の合図

差し迫った危険のための即時中断：1回の長いサイレン

危険な状況ではない中断：1回の長いサイレン

プレーの再開：3回の短いサイレン

注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となる可能性がある。

11. 練習(規則 5.2)

規則 5.5b は次の通り修正される

2つのホール間のプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、

終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

12. 移動

プレーヤーやキャディーは動力付きの移動機器に乗車してはならない。ただし、委員会が認めた場合や、事後承認された場合を除く。ストロークと距離の罰に基づいてプレーする(あるいはプレーした)プレーヤーは常に動力付きの移動機器に乗車して移動することが承認される。

このローカルルールの違反に対する罰：違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がプレーするホールとホールの間で起きた場合、罰は次のホールに適用する。

13. キャディー

プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰：

・違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。

・違反がホールとホールの間で起きた場合、プレーヤーは次のホールに対して一般の罰を受ける。

または違反がホールとホールの間まで継続した場合、プレーヤーは次のホールに対しても一般の罰を受ける。

【競技の条件】

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. プレーの条件

18ホール・ストロークプレーを行い、合計44名（レギュラークラス上位30名、シニアクラス上位14名）が日本選手権の出場資格を得る。

4. タイの決定

所定のホールが終わり、1位にタイが生じた場合、1番ホール→9番ホール→1番ホール→9番ホールの繰り返しにてホールバイホールのプレーオフを行い、優勝者を決定する。なお、3名以上でプレーオフが行われる場合、優勝者以外のプレーヤーは2位タイとする。また、シニアクラス1位と日本選手権への通過ラインにタイが生じた場合は、マッチング・スコアカード方式により決定する。

【マッチング・スコアカード方式】

①10番から18番ホール of 合計スコア、②13番から18番ホール of 合計スコア、③16番から18番ホール of 合計スコア、④18番ホール of スコア、⑤4番から9番ホール of 合計スコア、⑥7番から9番ホール of 合計スコア、⑦9番ホール of スコアの順で決定する。上記の方法でも決まらない場合は、⑧委員会によるくじ引きで決定する。尚、くじ引きの際、当該選手不在の場合は委員会が代理でくじ引きをする。

5. スコアカードの提出

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーが所定のスコアリングエリアから出た時点で競技委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーは委員会にその意思を告げなければならない、そしてすぐに戻らなければならない。

6. ティーマーカー

本競技のティーマーカーはレギュラークラスは黒マーク、シニアクラスは青マークとする。

7. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

◇内閣総理大臣杯 第52回日本社会人ゴルフ選手権 関東決勝大会 ヤーテージ◇

	ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out(東)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In(西)	Total
レギュラー	ヤード	363	179	462	540	358	142	455	543	333	3,375	345	496	407	170	448	405	230	573	367	3,441	6,816
シニア	ヤード	363	179	424	540	358	142	455	529	333	3,323	345	496	407	170	407	405	209	546	367	3,352	6,675
	パー	4	3	4	5	4	3	4	5	4	36	4	5	4	3	4	4	3	5	4	36	72

※Bグリーン使用

※コース状況により、変更になる場合がある。

【注意事項】

- 大会当日の受付、フロント、レストラン、打球練習場のオープン時間は6:00とする。
- 競技の条件やローカルルールに追加変更のあるときは、クラブハウス内掲示板とスターターズテント内に掲示して告知する。
- スタート時刻40分前にはクラブハウス内で大会受付とコースフロント受付を済ませ、スタート時刻10分前には必ずティーイングエリア周辺で待機すること。但し、欠場者が出た場合は組み合わせを変更する場合がある。
- プレーの進行に留意し、前の組との間隔をあげないよう注意すること。不当な遅延、スロープレーについては、規則5.6aにより罰せられることがある。
- パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
- 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
- 競技委員会は規則1.2に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーに対して「日本ゴルフ協会の行動規範」に基づき罰を課すことができる。
- 失格など競技委員会の決定について、抗議、その他のクレームは一切認めない。
- 練習は指定練習場で行うこと。打球練習場は備え付けの球を使用し、1人1カゴ(24球)を限度とする。なお、打球練習場ではアイアンのみ使用可とする。
- アプローチ練習場、バンカー練習場は使用禁止とする。
- 指定練習日および大会当日の服装およびエチケット・マナーに留意すること(ジーンズ、スウェット、Tシャツ、サンダル、ハイヒールなど禁止)。
- ギャラリーのコース内及び練習グリーンへの立ち入りは禁止する。
- 病気、事故等で参加を取り止める場合は必ず大会事務局に連絡すること。但し、この場合でも参加費の払い戻しはしない。参加を取りやめる場合、9月3日(金)まではスポニチ(Tel:03-3820-0651)、4日(土)以降は開催コース(Tel:042-989-1311)に連絡すること。

競技委員長